

事例 公益的機能の発揮に向けた天然力を活用した森林づくり

林野庁では、公益的機能の持続的な発揮に向け、自然条件等を踏まえつつ、多様で健全な森林への誘導を推進しており、そのための有効な手法の一つとして、天然力を活用した施業（天然更新※）に取り組んでいます。平成30年3月には、天然更新を検討する際に参考となる、具体的な調査・判定手法等を取りまとめた全国版の「国有林野事業における天然力を活用した施業実行マニュアル」を作成しました。

これを受け、平成30年度から、各局において本マニュアルに基づいた施業等の検討を開始しており、九州森林管理局では、各署等において、これまでに実施した天然更新事例を収集・整理し、本マニュアルを補完する資料の作成を進めています。

今後も、公益的機能の持続的な発揮に配慮した施業を推進していくため、天然力の活用に当たっての課題や改善策等の検証を行うこととしています。

（林野庁・九州森林管理局）



国有林野事業における
天然力を活用した施業実行マニュアル



平成30年3月
林野庁国有林野部経営企画課

場 所： 熊本県宇土市 南木原国有林ほか

説 明： 「国有林野事業における天然力を活用した施業実行マニュアル」（左）と調査の様子（右）です。